

ソフトウェアの知的財産権 連続講座 ～基礎からクラウドまで～

●カリキュラム

通番	2013	中級	上級	講義概要 * () 内講師名 (敬称略)	テーマ
1	7/11 (木)	A1		知財概論 (飯田 圭) 知的財産権概論。ケーススタディを交えながら各法の目的、特色等をコンパクトに解説。	著作権 (全3回)
2	7/19 (金)	A2		著作権法概論 (奥邨弘司) 日本著作権法を概観し全体像を把握する。具体例ではソフトウェア、コンテンツを中心に解説。	
3	7/26 (金)		B1	著作権B：日米の侵害事例 (梶山敬士) 著作権講義上級。著作権法の本質的理解を踏まえ日米の侵害事例の動向をまとめる。	
4	9/12 (木)	A3		契約概論 (小倉秀夫) 契約とは何か、まずその基本的な理解を目指す。その上でソフト取引特有のポイントを解説。	契約 (全3回)
5	9/19 (木)	A4		ソフトウェア契約 (大谷和子) ソフトウェアの開発・流通・利用、各フェーズにおける契約書類を概観。各種モデル契約も紹介。	
6	9/26 (木)		B2	契約B：ソフト契約を巡る法的トラブル (吉田正夫) ソフトの開発から運用・保守まで契約上の留意点をQA式で細かく解説。演習問題も。	
7	10/10 (木)	A5		特許概論 (三品岩男) ソフト発明とはどのようなものか、またソフトの特許による保護について審査基準を辿りつつ解説。	特許 (全3回)
8	10/18 (金)	A6		出願実務 (土井健二) 出願実務において法務担当者が果たすべき役割を演習形式で疑似体験する。権利取得のノウハウも。	
9	10/24 (木)		B3	特許B：侵害論 (調整中) 侵害訴訟における攻撃と防御、特許庁と裁判所の役割、ソフトウェア特許特有の問題点等、最新動向を踏まえ深く掘り下げる。	
10	11/7 (木)		B4	不正競争防止法 (小川憲久) 改正を重ね守備範囲を拡大する不正競争防止法。その全体像を事例豊富に紹介する。	関連する 諸問題 (全6回)
11	11/14 (木)		B5	独占禁止法と知的財産権 (石田英遠) 競争法の基本的な考え方を概観するとともに知財関連事案を指針、ガイドライン、勧告等をもとに解説。	
12	11/22 (金)		B6	デジタルコンテンツの権利処理 (宮下佳之) デジタルコンテンツの利用及び流通を巡る契約実務を紹介、問題点を解説し適切な権利処理のための留意点をまとめる。	
13	11/28 (木)		B7	企業におけるソフトウェアの管理 (光主清範) 企業のソフトウェア管理について著作権、契約等の面から解説。	
14	12/5 (木)		B8	OSS ライセンス (岡村久道) 今やなくてはならないOSS。代表的なライセンスであるGPLv2,3の内容を背景や変遷を交えて解説。	
15	12/12 (木)		B9	予防法務とADR (大澤恒夫) いかにして法的トラブルを避けるか、起きてしまったトラブルをいかに迅速に解決するか、考え方とポイントを整理。	

16	2014 1/16 (木)	C1	クラウドコンピューティング (岩原将文) クラウドコンピューティング概論。従来型サービスとの相違、共通する問題等を、主に著作権法、特許法の観点から解説する。	クラウド (全6回)
17	1/24 (木)	C2	クラウドコンピューティング (上沼紫野) クラウドにおいて、より顕在化する問題点を取り上げる各論。クロスボーダー問題、個人情報保護法との関連等。	
18	1/30 (木)	C3	電子書籍 (村尾治亮) 本格化する電子書籍ビジネスにおいて権利者、事業者、そして利用者にとってどのような契約が関わってくるか、またどのような問題点が考えられるか、解説する。	
19	2/6 (木)	C4	ネットワークと著作権 (井口加奈子) デジタル化・ネットワーク化により著作物利用の態様は爆発的に多様化した。その変化を追うとともに、複雑化する侵害・紛争事例と顕れる問題点について米国の動向も含め解説。	
20	2/13 (木)	C5	ソーシャルメディア (調整中) 個人ユーザーから ビジネスまで幅広い利用が進むソーシャルメディア。その拡大に伴って発生する多様な利用形態とそれぞれの問題点について整理する。	
21	2/20 (木)	C6	クラウド上の特許問題 (相田義明) クラウドの普及・定着とともにこれまで以上に問題になりうる特許法上の有効性や侵害の事例について具体的に解説。	

連続講座係 Email lec@softic.or.jp
TEL 03-3437-3071
FAX 03-3437-3398

一般財団法人ソフトウェア情報センター
東京都港区虎ノ門5-1-4 東都ビル4F